

第85回原町地区メーデー開催！！



主催者挨拶する諸橋実行委員長

第85回原町地区メーデーは、4月26日（土）労働福祉会館前で開催され、原町地区内の組合員・家族450名が参加した。地区メーデーは、東日本大震災と原発事故から3年1ヶ月が過ぎ、復旧・復興・再生へ取り組む中での開催となった。式典は、スローガン「力合わせよう！ 心つなげよう！」、サブスローガン「希望と安心が実感できる福島を創り上げよう！」のもと開催された。

メーデー議長に菅野副実行委員長を選出したのち、諸橋誠敏実行委員長が「東日本大震災を風化させない、私たちが明るく活動し発信していくことが大事、みんなで連帯の輪を確認するメーデーにしよう」と挨拶。続いて、来賓として中高克郎相双地方振興局次長、藤田幸一南相馬市経済部長、地区の政党代表として、小川尚一民主党相馬地方支部幹事長、草野正亀社民党相馬支部協議会代表、西銃治南相



要求実現を訴えた市内パレード

馬市議会議員より挨拶を受けた。



多くの組合員・家族が参加した交流会

また、菅野典雄飯館村長のメッセージを紹介、「メーデー宣言」・「労働者保護ルールの改悪に断固反対する特別決議」・「メーデースローガン」の提案を満場一致で採択した後、各単組で作成したプラカードを掲げ、格差社会の是正、最低賃金の引き上げ、復興・再生に全力で取り組むことなどを訴

えながら市内パレードを実施した。プラカードコンクールも行われ、表彰の後、諸橋実行委員長の音頭でガンバロー三唱を行った。

式典の後の交流会では、子供ジャンケン大会、大抽選会を行い、交流を図りながら楽しいひと時を過ごした。また、地域の福祉向上のため募金を取り組み、総額 46,117 円の善意が寄せられた。この募金については、今後、南相馬市・飯館村に寄贈することとする。

各構成単組・組合員の皆様、ご協力ありがとうございました。

プラカードコンクール審査結果

◎最優秀賞 NTT労組 ◎優秀賞 藤倉ゴム労組 ◎特別賞 東北電労原町火力支部
◎努力賞 東北電労原町支部、丸三製紙労組、JP 労組